

第7号

大志連区地域づくり協議会だより

発行日:平成29年7月1日 発行者:大志連区地域づくり協議会(会長:木村富雄 090-1832-029)
<http://blog.goo.ne.jp/a1384chidukyo> 一宮市のHPにも掲載中

地域づくり協議会専用事務室:大志公民館(大江3-9-14)2F 料理実習室内 FAX:0586-24-5206
 常駐予定(木村):毎週月曜日午後1時半~5時半、毎週木曜日午後5~8時 138daishi.chiiki@gmail.com

地域づくり協議会部会員・役員合同会議 開催

5月17日(水)19時より大志公民館において、地域づくり協議会三部会(地域活性部会部会・福祉部会・広報部会)の部会員・役員合同会議が開催されました。4月に行われた総会の結果とその後の進捗確認後、「大志連区防災訓練」が議題にあがりました。初めに、大志連区自主防災連絡協議会会長の佐藤氏より、防災訓練の構想説明がありました。「大規模災害発生時においては、行政による支援『公助』ばかりに頼ることなく、自らの手で守る『自助』、地域で互いに助け合う『共助』が極めて重要とされます。そのため、地域住民の自主的な防災活動の実現を目指して、各町内会単位で自主防災会が組織されています。11月26日(日)に行われる『大志連区防災訓練』が、『自助・共助』の観点からも、大志連区としての防災体制確立への出発点となればと考えます。各種団体のお力添えをいただき、多くの方々に参加していただき、防災上の問題点等を拾い上げ、防災体制構築の第一歩としたいと考えます。」その後、意見交換が活発に行われました。安全・安心な町づくりの観点から、防災体制の確立は必要性・緊急性のある重要な内容であることが確認されました。



児童育成協議会(子ども会)の皆さん 大活躍

5月27日(土)大志児童館において、『ふれあいまつり』が行われました。児童育成協議会や母親クラブの皆さんが、それぞれのゾーンで、お手伝いをされていました。子どもたちは、楽しくついたり、遊んだりして一日を過ごしました。



【ドキドキ風船運び】

5月7日(土)大志小学校屋内運動において、『児童福祉大会』が行われました。「できることたくさんあるよ きみのてに」今年度、児童福祉週間の最優秀標語です。この標語のように、子どもたちの健やかな成長を願い、各町内子ども会の皆さんが、運営に、演技に、応援に大活躍されていました。親も子も、笑顔いっぱいの日でした。



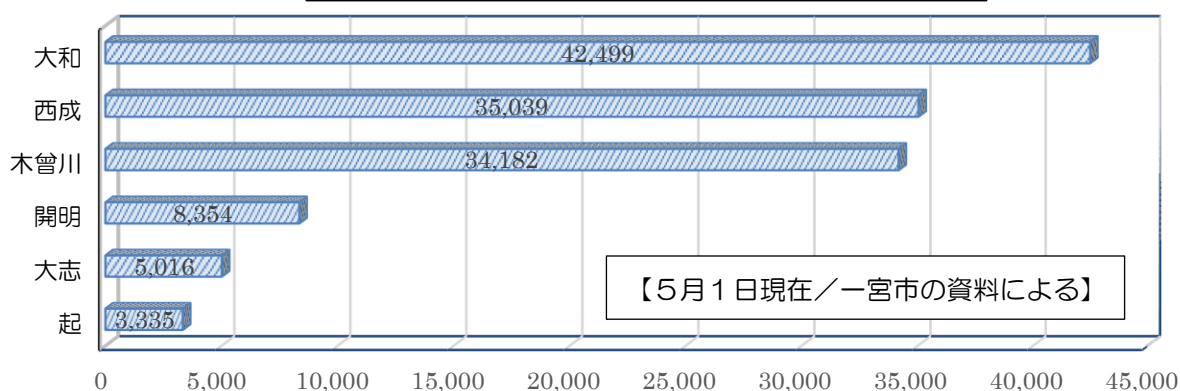
【ボールつむつむ】

資料から見る大志連区（人口）

平成 17 年の合併で、現在 38 万余都市となった一宮市。この一宮市には、23 の連区があります。大志連区を『人口』から、みてみます。いちばん人口の多い連区は大和連区で、42,499 人です。市の人口要件は 5 万人以上（特例法では 3 万人）で、それに迫る人口が大和連区です。大志連区は、23 連区中 22 番目で、平成 29 年 5 月 1 日現在、5,016 人です。一宮市の中心に位置する大志連区は、ドーナツ化現象で人口は減少の一途でしたが、マンションが建ち並び、多少の増加がありました。

	連区	人口（人）
1	大和	42,499
2	西成	35,039
3	木曾川	34,182
21	開明	8,354
22	大志	5,016
23	起	3,335

連区別人口（人） ※上位下位 3 連区



歴史の散歩道④ 『匡衡の妻・赤染衛門は三十六歌仙のひとり』



【百人一首歌かるた】

百人一首の歌人の一人である赤染衛門（あかぞめえもん）は、大江匡衡（まさひら）の妻です。彼女は、有名な女流歌人で、夫・匡衡と尾張国へ来ました。匡衡・赤染衛門夫妻が赴任した当時の尾張国は、藤原元命の悪政等で、農民は役人を信頼せず抵抗に合い、種をまかず米作りの意欲もあまりなかったようです。そのような窮状を見かね、彼女は「賤（しづ）の男（を）の種ほすといふ春の田を作りますだの神に任せん」と詠み、真清田神社に献納しました。この歌は、農民の怒りを鎮め、農作業に従事する事を願った歌のようです。歌碑が真清田神社総門前の東側にあります。



【赤染衛門歌碑】

青空隊員募集しています

<今月の予定>

- 「地域づくり協議会部会員役員合同会議」7/18（火）
- 「教養講座」7/12・19・26（水）／公民館
- 「交通安全街頭活動」7/14・28（金）
- 「元気アップ体操」7/14・28（金）／公民館
- 「七タクリーンアップ」7/27～30
- 「インディアカ教室」7/6・20（木）／大志小学校



大志小学校交通安全教室